

生光学園中学校

〔 特進・総合・IECコース 〕

令和元年度 2月行事予定

光は外に求めるものでなく
自己の中にあり
自らの心の中に光を見出したとき
他から光が与えられる



2

February

2020

日	月	火	水	木	金	土
						1 生光学園高校入試 [生徒振休 2/22]
2	3	4	5	6	7 生徒会役員改選	8 *(IEC登校)
9	10	11 生光創立記念日 祝 建国記念日	12 振替休日	13 実力テスト 基礎学力テスト	14 数学検定	15
16	17	18	19 予餞会 (PM)	20	21	22 参観日 Y9保護者役員会
23 祝 天皇誕生日 英語検定2次	24 振替休日	25	26 公立高願書受付	27 公立高願書受付	28 集中勉強会	29 IEC卒業生 スピーチ発表会

★ 2月22日(土) : 参観日、3年生保護者役員会(卒業関連)を予定。
後日、案内プリントを配布します。ご協力よろしくお願ひします。

2015年5月31日、千葉マリンスタジアムで始球式プロポーズが行われました。これはプロ野球選手から見事ストライクをとれたら、彼女にサプライズ・プロポーズができるというイベントです。この年、名乗りでた男性は花島工真(たくみ)さん26歳、バッターはロッテ(当時)の今江敏晃選手でした。

花島さんが応募したのは、きちんとした理由がありました。学生時代から6年間つきあってきた彼女、館石彩(あや)さんが、1年前に骨肉種(骨のガン)が発覚し懸命の治療をおこないました。一度は回復したものの再発してしまい、花島さんは彩さんから「もう、一緒にいない方がいい。別れた方がいい」と言われました。それでも『僕の方が支えられている！これからずっと一緒にいたい！』という気持ちを彼女に伝えるために、彼は始球式プロポーズを決意しました。

マウンドに立った彼は直球ストレートの全力投球！そして今江選手のバットは大きく空を切りストライク。そして、2万6千人の観客が見守るスタジアムで、見事プロポーズは大成功しました。事前インタビューで『好きな彼女が病気になっただけで、だからといって自分の気持ちは何も変わらない。これからもずっと一緒にいるし、ただ一緒に乗り越えていだけだ』と、語っていた彼の男気に深く感動を覚えます。当時、ある番組のコメンテーターがエールをこめて、二人に送った次のコメントも印象的でした。

「^{ふなん}難が無い人生は“無難な人生”そして難が有る人生を“^{ありがた}有難い人生”と言う」

また放映後の SNS に投稿されたメッセージのひとつに

<負担を掛けたくないから別れを選ぶ> 彼女の気持ち。

<大切なひとだからどんなことがあっても一緒にいたい> 彼の気持ち。

ふたりの思いの中に、現代版“賢者の贈り物”の<鎖>と<櫛>を見た。…とありました。

[* 賢者の贈り物 : オー・ヘンリー 1905年米国]